

V 計画の推進

山科区にかかわるすべての関係者が一緒になって連携・協働し、より良い山科区づくりを行っていくため、この「第2期山科区基本計画」を推進するに当たっては、社会経済情勢の変化等に柔軟かつ的確に対応するものとし、「基調の共有」と「確実な進ちょく管理」、「成果の共有」について重視します。

1 基調の共有

(1) 次代を担う「人づくり」

「まちづくりは人づくり」の考えに立ち、あらゆるまちづくりの取組において、山科区への愛着と区民としての自負をもち、これからの山科区を担う意欲と気概のある区民が一人でも多く生まれ育っていくよう「人づくり」に努めます。

(2) 効果的な「融合」

それぞれの取組においては、あらゆる関係分野を横断的にとらえて、施策・事業の各レベルでの「融合」に留意し、また、産学公等の連携を図りながら、効果・効率的な取組の推進に努めます。

(3) 区民と行政の「共汗・協働」

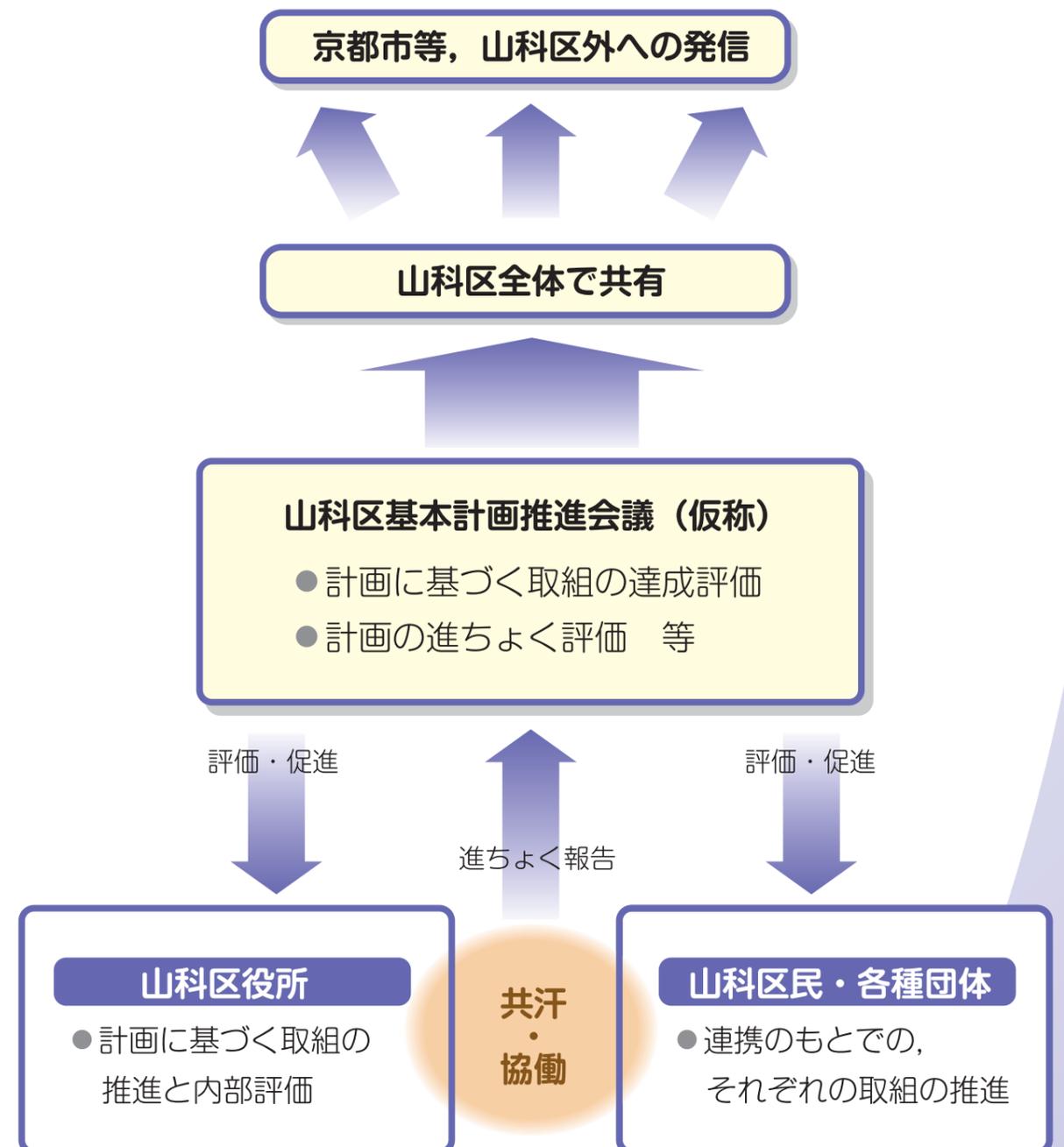
この計画に盛り込んだ取組は、すべて「共汗・協働」を基本とするものです。区民・地域団体・企業・事業者・大学・行政等の関係者が、相互に理解し合い、連携・協働し、知恵と力をあわせて、より良い人づくり・まちづくりのため、共に汗をかきます。

2 確実な進ちょく管理と成果の共有

計画策定後、この計画に基づく50の取組について、毎年、区民と区役所の取組を取りまとめた実行計画を作成し、確実な推進を図っていきます。

また、各種団体を通じた進ちょく評価と区役所による内部評価をあわせて基礎資料とし、新

たに設置する「山科区基本計画推進会議（仮称）」によって各取組の達成度を評価することで、計画全体の進ちょくを評価し、適切に管理していきます。その結果については、わかりやすく取りまとめて山科区全体で共有し、また、広く公表していきます。



参考：山科区基本計画策定委員名簿

(座長：織田直文氏，副座長：幸田光雄氏)

氏名	所属等
板倉 はるみ (いたくら はるみ)	京都市中学校PTA連絡協議会山科支部長 (第1回～第4回)
市川 正三 (いちかわ しょうぞう)	山科区農業団体連絡協議会会長
梅本 光生 (うめもと こうせい)	山科防犯協会副会長
太田 八十一 (おおた やそかず)	山科区民生児童委員会会長
岡久 美津子 (おかひさ みつこ)	社団法人京都手をつなぐ育成会山科支部長
奥田 末子 (おくだ すえこ)	山科区地域女性連合会副会長
織田 直文 (おだ なおふみ)	京都橋大学教授
川嶋 正富 (かわしま まさとみ)	市民公募委員
河村 政次 (かわむら まさつぐ)	山科区自治連合会連絡協議会会長会平成22年度代表
木下 正敏 (きのした まさとし)	京都市小学校長会山科支部長 (第5回～第7回)
木村 純一 (きむら じゅんいち)	京都市小学校長会山科支部長 (第1回～第4回)
桑原 仁美 (くわはら ひとみ)	山科医師会会員
幸田 光雄 (こうだ みつお)	山科区自治連合会連絡協議会会長会平成21年度代表
小山 好弘 (こやま よしひろ)	清水焼団地協同組合理事長
佐治 俊彦 (さじ としひこ)	山科保健協議会連合会副会長
澤田 清一 (さわだ きよかず)	山科区交通安全対策協議会会長
朱 まり子 (しゅ まりこ)	NPO法人山科醍醐こどものひろば前理事長
高山 弘 (たかやま ひろし)	山科区身体障害者団体連合会会長
竹之内 寛 (たけのうち みのる)	社団法人山科経済同友会会長
田島 宏 (たじま ひろし)	山科美化推進企業協議会会長 (第1回～第3回)
谷川 守正 (たにかわ もりまさ)	市民公募委員
出竿 賢治 (でざお けんじ)	NPO法人おこしやす“やましな”協議会会長
渡名喜 玲華 (となき れいか)	市民公募委員 (京都橋大学学生)
西 裕 (にし ゆたか)	山科警察署長 (第5回～第7回)
羽立 民子 (はだて たみこ)	山科区老人クラブ連合会副会長
樋口 文和 (ひぐち ふみかず)	山科警察署長 (第1回～第4回)
日比野 雄二 (ひびの ゆうじ)	山科美化推進企業協議会会長 (第4回～第7回)
松本 淳 (まつもと きよし)	社会福祉法人京都市山科区社会福祉協議会会長
本島 磨美 (もとじま きよみ)	市民公募委員 (京都橋大学学生)
森 正美 (もり まさみ)	京都文教大学准教授
八木 幹太 (やぎ かんた)	京都市中学校PTA連絡協議会山科支部長 (第5回～第7回)
山口 好 (やまぐち このみ)	市民公募委員 (京都橋大学学生)
山口 幸秀 (やまぐち ゆきひで)	山科区体育振興会連合会会長

五十音順 (敬称略)



山科区基本計画策定委員会

平成21年8月に設置した「山科区基本計画策定委員会」では、委員それぞれの立場から、活発な意見の交換が行われました。第3回の委員会においては、それまでの委員会の意見等を踏まえた5つのテーマにわかれて、山科区基本計画職員ワーキンググループ等との「共汗・協働」のグループワークを実施し、具体的な取組提案を行いました。

その後、第4回、第5回の委員会の検討を踏まえて、計画素案を公表しパブリック・コメントを実施しました。第6回、第7回の委員会では、計画素案に対するパブリック・コメントの反映方針、また、将来像のキャッチフレーズの選定について協議が行われました。

—計画内容について、以下の団体等からご意見をいただきました。—

「第6回 若者が発信する21世紀の山科のまちづくり」の参加者／京都「おやじの会」連絡会山科支部／京都市小学校PTA連絡協議会山科支部／社団法人山科経済同友会青年部委員会／山科三条商店会／ブレパパ・ママ教室に参加している区民／山科タンタンおもちゃライブラリー／だんごやましくらぶ／親子支援ネットワーク♪あんだんて♪／太陽クラブ／社会福祉法人ミッションからしだね／京都府立洛東高等学校の生徒／やましなを語りつくす会／ふるさとの良さを活かしたまちづくりを進める会 (略称「ふるさとの会」)／京都市立鏡山小学校PTA

※山科区基本計画策定委員が属している団体 (1団体) を除く。

—パブリック・コメント等において、以下の団体等からご意見をいただきました。—

京都薬科大学の大学生／山科中央老人福祉センターの利用者／社団法人山科経済同友会青年部委員会／陵ヶ岡消防団／げんきスポット0-3 (NPO法人山科醍醐こどものひろば)／京都「おやじの会」連絡会山科支部／京都市立山科中学校の生徒／山科青少年活動センターの利用者／山科・介護者の会「はげましの会」／山科区基本計画職員ワーキンググループ／新たな「山科区基本計画」の策定に向けた合同会議／人づくりネットワーク会議／安朱夏まつり実行委員会／山科区交通安全対策協議会会長会議／NPO法人おこしやす“やましな”協議会プロジェクトチーム会議



ご意見ふやす箱



京都市立山科中学校の生徒

—計画策定には、以下の行政機関等が参画しました。—

山科区役所／山科区基本計画職員ワーキンググループ／山科警察署／山科消防署／山科まち美化事務所／東部農業振興センター／東部土木事務所／上下水道局山科営業所／上下水道局みなみ下水道管路管理センター山科支所／山科図書館／京都市小学校長会山科支部／京都市立中学校長会山科支部／社会福祉法人京都市山科区社会福祉協議会／東部文化会館／山科青少年活動センター